日本熱測定学会 第38回 通常総会 議事

日 時:2011年10月22日(土)17:00~17:50

会 場:第47回熱測定討論会(桐生市市民文化会館)A会場

総会の成立: 出席者 71 名および委任状 86 通 (計 157) により定足数 142 (正会員 568 名の 4 分の 1) を越えており, 会則第 18 条により総会は成立した。

1. 第37回通常総会議事録の承認

2. 2011 年度事業報告 (2010.9.21~2011.9.30)

(1) 会員状況

	2010.9.21	入会者	退会者	2011.9.30
名誉会員	15	0	4	11
正会員	599	26	57	568
学生会員	60	15	6	69
維持会員	34 (60)	2(2)	1(1)	35(61)
		()) 内は維	持会員口数

(2) 集会関係

- 1) 委員会 1回(津1回), 幹事会 4回(八王子1回, 東京2回, 津1回), 庶務幹事会 4回(八王子1回, 東京2回, 津1回), 会計幹事会 1回(東京1回), 編集委員会5回(八王子1回, 東京3回, 津1回), 企画幹事会2回(東京1回, 京都1回), 学会賞等選考委員会1回(東京1回)
- 2) 第 46 回熱測定討論会 (2010.9.27~29, 三重大学) 発表件数 口頭発表 62件, ポスター発表 57件, 特別講演 2件, 受賞講演 2件, 参加者 182名, 「三翠賞」3件
- 3) 第11回若手の会(2010.9.27,津)参加者30名
- 4) 第9回シニアの会(2010.9.27, 津)参加者60名
- 5) 第 37 回通常総会 (2010.9.27, 津) 熱測定 Vol.38, No.1 (2011) p.33 参照
- 6) 第 47 回熱測定討論会実行委員会(桐生 2 回)
- 7) 15th ICTAC 準備委員会(2010.9.27, 津)
- 8) 日本熱測定学会基礎セミナー「熱量測定・熱分析ハンドブック」を有効に活用するために」(2010.10.12~13, 東京)参加者 14 名
- 9) 第 48 回熱測定ワークショップ「新時代の熱分析技術」 (2011.3.2, 東京)参加者 22 名
- 10) 第 66 回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用—基礎と有機・高分子・無機・電池材料・医薬品への応用—」(2011.3.3~4,東京)参加者 21 名
- 11) 応用セミナー (2011.4~7の4回, 東京) 参加者 33名
- 12) 66th Calorimetry Conference (日本熱測定学会との Joint Meeting) (2011.6.12~17, ハワイ・オアフ島) 参加者約 100 名
- 13) 第 6 回熱分析基礎講座: DSC と TG-DTA の講義と演習 —信頼性の高い測定のために— (2011.6.28, 東京) 参加者 9名
- 14) 第 6 回国際および第 8 回日中熱測定シンポジウム (CATS2011) (2011.8.1~4, 八王子) 参加者 79 名 (国外 17 名), 発表件数 72 件
- 15) 第 67 回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用 (2011.8.25~26, 京都)参加者 30 名

(3) 共催・協賛・後援関係

協賛:第51回高圧討論会(主催:日本高圧学会,2010.10.20~22,仙台)

- 協賛:第53回自動制御連合講演会(主催:日本機械学会, 2010.11.4~6,高知)
- 協賛:第24回日本吸着学会研究発表会(主催:日本吸着学会, 2010.11.5~6, 石巻)
- 共催:第31回熱物性シンポジウム(主催:日本熱物性学会, 2010.11.17~19,福岡)
- 協賛:第7回コロイド・界面新領域創造講座(主催:日本化 学会 コロイドおよび界面化学部会,2010.11.19,東京)
- 協賛:第 37 回炭素材料学会年会(主催:炭素材料学会, 2010.12.1~3, 姫路)
- 協賛: 2nd International Symposium on Thermal Design and Thermophysical Properties for Electronics and Energy (e-Therm 2010) (主催:産総研計測標準研究部門, 2010.12.15~17, つくば)
- 協賛: 食品ハイドロコロイドセミナー2011 (主催: 食品ハイ ドロコロイド研究会, 2011.5.17, 大阪)
- 協賛: 第22回食品ハイドロコロイドシンポジウム(主催:食品ハイドロコロイド研究会,2011.5.18,大阪)
- 共催: 第48回日本伝熱シンポジウム(主催:日本伝熱学会, 2011.6.1~3, 岡山)
- 後援: 第11回GSCシンポジウム(主催:GSCネットワーク, 2011.6.2~3, 東京)
- 協賛: 第 56 回低温生物工学会大会(主催:低温生物工学会, 2011.7.7~8, 盛岡)
- 協賛:日本セラミックス協会 第24回秋季シンポジウム(主催:日本セラミックス協会,2011.9.7~9,札幌)
- 協賛:第59回質量分析総合討論会(主催:日本質量分析学会, 2011.9.13~15,吹田)
- 共催: 第55回粘土科学討論会(主催:日本粘土学会,2011.9.14 ~16, 鹿児島)

(4) 出版関係

 会誌「熱測定」の編集・発行(Vol.37, No.5~Vol.38, No.4, 計 282 頁,各 900 部)

内容: 巻頭言 1,論文 2, ノート 2,特集「医薬品開発における熱測定の利用」(解説 5),解説 12 (2010年度学会賞受賞解説 2を含む),フロギストン 28,レポート 12,その他

(5) 広報関係

- ・ 学会ホームページのトップページの改訂 最新情報・重要なお知らせ等を見やすく表示
- ・ 学会ホームページの維持・更新 学会の年間活動の案内等さまざまな情報に関わる更新

(6) グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ (主査:篠田嘉雄)
 - 定期会合1回.
 - ・ 第48回熱測定ワークショップ「新時代の熱分析技術」 (早稲田大学)を開催した.
- 2) 標準化作業グループ (主査:清水由隆)
 - · 定期会合1回(2010.9.27)
 - ・ 第6回熱分析基礎講座 (2011.6.28, 首都大学東京秋葉 原キャンパス,参加者9名)
 - ・ 新規標準物質についての情報収集
- 3) 標準状態圧力適正化ワーキンググループ(主査:山口勉功)
 - 定期会合1回.

(7) 国際協力

- 1) IUPAC: 徂徠道夫(阪大名誉教授)Member of the Advisory Subcommittee (Division I)
- 2) IACT:阿竹徹(東京都市大学) Member of Board of Directors
- 3) ICTAC:小棹理子(湘北短大) Executive Councilor (Membership Secretary), 木村隆良(近畿大) Affiliate Councilor
- 4) CALCON:中澤康浩(阪大院理) Director; 齋藤一弥(筑 波大院数理物質) Counselor

(8) 2011 年度学会賞等選考報告

学会賞

・該当者無し

奨励賞

- ・神山 匡(近畿大理工)「溶液中におけるタンパク質の 熱物性」
- ・神崎 亮 (鹿児島大院理工)「非水環境下における酸塩 基反応熱力学」

))

3. 2011 年度収支決算			
	 予 算	[単位:円] 決 算	
収入	8,211,637	7,940,731	
(1) 会費収入	4.974,000	4,442,000	
正会員	3,594,000	3,096,000	
学生会員	180,000	126,000	
維持会員	1,200,000		
(2) 事業収入	3,100,000	1,220,000 3,392,425	
会誌発行収入	1,800,000	1,699,362	
去	1,500,000	1,439,550	
別刷代金	1,300,000	74,802	
購読料	200,000	185,010	
第 46 回討論会収力		256,781	
講習会収入	,	-	
出版印税	1,000,000	1,436,282	
山水中水	100,000	0	
(3) 雑収入	100,000	68,669	
(4) 繰越金	37,637	37,637	
支出	8,154,000	7,145,386	
(1) 事業費	4,192,000	3,824,421	
会誌発行費	3,600,000	3,382,185	
編集費		1,472,940	
印刷費		1,478,487	
別刷印刷費		46,418	
発送費		384,340	
研究G・WG	30,000	26,250	
WS・講演会	100,000	12,000	
第 47 回討論会準備	黄金 200,000	200,000	
第 11 回若手の会	50,000	50,000	
第9回シニアの会	50,000	27,486	
英文プログラム	50,000	50,000	
学会賞等経費	100,000	64,500	
国際協力費	12,000	12,000	
(2) 管理費	3,812,000	3,195,795	
会議費	250,000	133,622	
交通費	684,000	297,000	
事務局費	2,268,000	2,268,000	
HP 管理費	60,000	60,000	
通信費	250,000	204,315	
消耗品費	200,000	202,368	
雑費	100,000	30,490	
(3) 予備費	150,000	125,170	
		_	
次期繰越金	57,637	795,345	
当期収支差額	20,000	757,708	
特別会計			
熱測定特別基金 2,059,928			
ICCT-2010 より	4,200		
利息		876	
ICTAC2012 ~	-300		
V6-HB 6B. +ch	500,	004	

5,964,804

次期繰越

4. 2012 年度役員 (2011.10.1~2012.9.30)

○印 新任. □印 再任

○ 猿山 靖夫(京都工繊大院高分子機能工学)

委 員

荒殿 誠 (九大院理)

有田 裕二(福井大原子力研)

- 飯島 正徳 (東京都市大教育研究セ)
- 飯田 真吾 (東京理工)

池内 賢朗 (アルバック理工)

石子 貴与晃 (ブルカー・エイエックスエス)

市村 裕(エスアイアイ・ナノテクノロジー)

岩橋 祐輔 (日本サーマル・コンサルティング)

内山 進(阪大院工)

太田 充(島津製作所)

- □ 大塚 康城 (ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン)
- 河井 貴彦 (群馬大院工) 神崎 亮 (鹿児島大院理工)

木村 二三夫 (東京電機大)

- 古賀 信吉 (広島大院教育学)
- 斎藤 幸廣 (パナソニックモバイルコミュニケーションズ)
- 澤田 豊 (東京工芸大院工)

鈴木 俊之 (パーキンエルマージャパン)

高橋 正人(信州大繊維)

- 塚目 孝裕(消防大学校消防研究セ)
- 津越 敬寿 (産総研計測標準研)

土屋 雅大 (防衛大応用科学)

戸田 昭彦 (広大総科)

中澤 康浩 (阪大院理)

○ 仲宗根 桂子 (琉球大理)

服部 光生 (メトラー・トレド)

林 英子 (千葉大教)

平山 泰生 (リガク)

- 深田 はるみ (大阪府立大院生命環境)
- 山崎 淳司(早稲田大創造理工)
- 山田 武 (総合科学研究機構東海事業セ)

会計監査

○ 稲葉 章 (阪大院理)

阿部 陽香 (庶務, 産総研)

- 内山 進(企画, 阪大院工)
 - 小川 英生(編集,東京電機大理工)

小田 究(企画,名古屋市工研)

- 川路 均(広報,東工大応セラ研)
- 岸 證(企画, リガク)
- 寺本 芳彦 (会計, 元エスアイアイナノテクノロジー)
- 橋本 拓也 (編集, 日大文理)

三木 久美子(会計, 日大生産工)

□ 山村 泰久(庶務, 筑波大院数理物質) 米持 悦生(企画, 東邦大院薬)

2012 年度編集委員会

編集委員

- 飯島 正徳 (東京都市大教育研究セ)「有機」
- 飯島 美夏(長崎大教育)「高分子」 乾 隆(大阪府立大院生命環境)「酵素,蛋白質」

小川 英生 (東京電機大理工) 「溶液」, 委員長, 編集幹事

○ 京免 徹(群馬大院工)「セラミックス/無機/結晶」 清水 由隆 (産総研)「有機/計量標準」

橋本 拓也(日大文理)「セラミックス」副委員長, 編集幹事

○ 森川 淳子 (東工大院理工)「高分子/有機」

拡大編集委員

内山 進(阪大院工)「生物物理化学」

- 川上 亘作(物質・材料研究機構)「医薬品」
- 中別府 修(明治大理工)「ミクロ伝熱/金属合金/微生物」 林 英子(千葉大教)「化学/化学教育」 本多 英彦 (昭和大)「動的熱測定,物性化学物理学」

2012 年度広報委員会

- 川路 均 (東工大応セラ研) 幹事
- 山田 武 (総合科学研究機構東海事業セ)
- □ 山村 泰久 (筑波大院数理物質)

5. 2012 年度事業計画(2011.10.1~2012.9.30)

(1) 集会関係

- 1) 委員会 1 回(桐生 1 回), 幹事会 4 回(桐生 1 回, 東京 3回), 庶務幹事会4回(桐生1回, 東京3回), 編集委 員会4回(桐生1回,東京3回),会計幹事会1回(東京 1回),企画幹事会2回(東京1回,京都1回),広報委 員会1回(桐生1回), 学会賞等選考委員会2回(東京2
- 2) 第 47 回熱測定討論会 (2011.10.21~23, 桐生)
- 3) 第12回若手の会(2011.10.21,桐生)
- 4) 第10回シニアの会(2011.10.21,桐生)
- 5) 第38回通常総会(2011.10.22, 桐生)
- 6) 第 48 回熱測定討論会実行委員会(大阪 5 回)
- 7) 第 68 回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応 用」(東京)
- 8) 第69回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応 用」(京都)
- 9) 第7回熱分析基礎講座
- 10) 15thICTAC 準備委員会(2011.10.21,桐生)
- 11) ワークショップ・講演会のテーマ・世話人を募集

(2) 共催・<u>協賛関係</u>

協賛:第52回高圧討論会(主催:日本高圧学会,2011.11.9~ 11、那覇)

協賛:第25回日本吸着学会研究発表会(主催:日本吸着学会, 2011.11.10~12, 那覇)

協賛:第54回自動制御連合講演会(主催:日本機械学会, 2011.11.19~20, 豊橋)

共催:第32回熱物性シンポジウム(主催:日本熱物性学会, 2011.11.21~23, 横浜) 会期中に日本熱測定学会と日本 熱物性学会の合同セッション「新しい計測・分析」が行 われた.

協賛:第38回炭素材料学会年会(主催:炭素材料学会, 2011.11.29~12.1, 名古屋)

協賛: The 6th International Conference on Gold Science, Technology and its Applications (主催: GOLD 2012 組織 委員会, 2012.9.5~8, 新宿)

協賛: 第19回国際質量分析会議 IMSC2012 (主催:日本質量

分析学会, 2012.9.15~21, 京都)

(3) 出版関係

会誌「熱測定」の編集・発行 (Vol.38, No.5~Vol.39, No.3, A4 版, 各 900 部)

(4) 広報関係

・ 学会ホームページの維持・管理

内容: 学会ホームページ内のバクの修正, 学会活動の 案内・熱測定誌関連・各種リスト等の更新

(5) グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ(主査:篠田嘉雄)
 - · 定期会合1回(2011.10.23).
 - ・ 熱測定ワークショップを再企画・開催する.
 - ・「熱測定応用研究のページ」へ投稿を呼びかける.
- 2) 標準化作業グループ (主査:清水由隆)
 - · 定期会合1回(2011.10.23).
 - 第7回熱分析基礎講座企画.
 - 新規標準物質についての情報収集と標準化作業の企 画検討.
 - ・ 国際協力の可能性についての検討.
- 3) 標準状態圧力適正化ワーキンググループ(主査:山口勉功)
 - · 定期会合1回(2011.10.21).
 - メンバーがそれぞれの国内外のつながりを生かして 適正化を働きかける。
 - ・ 熱測定誌における啓蒙記事の執筆を検討する.

(6) 国際協力

- 1) IUPAC: 徂徠道夫(阪大名誉教授) Member of the Advisory Subcommittee (Division I)
- 2) ICTAC: 小棹理子 (湘北短大) Executive Councilor (Membership Secretary), Standardization WG Chair; 木村 隆良 (近畿大) Affiliate Councilor
- 3) CALCON:中澤康浩(阪大院理) Director; 齋藤一弥(筑 波大院数理物質) Counselor

6. 2012 年度収支予算(2011.10.1~2012.9.30)

	予 算
収入	8,542,345
(1) 会費収入	4,847,000
正会員	3,420,000
学生会員	207,000
維持会員	1,220,000
(2) 事業収入	2,800,000
会誌発行収入	1,500,000
広告料	1,200,000
別刷代金	100,000
購読料	200,000
47 回討論会収入	200,000
講習会収入	1,000,000
出版印税	100,000
(3) 雑収入	100,000
(4) 繰越金	795,345
支出	8,542,345
(1) 事業費	4,192,000
会誌発行費	3,600,000

編集費

印刷費 別刷印刷費 発送費

研究 G・WG	30,000
WS・講演会	100,000
第 48 回討論会準備金	200,000
第12回若手の会	50,000
第 10 回シニアの会	50,000
英文プログラム	50,000
学会賞等経費	100,000
国際協力費	12,000
(2) 管理費	3,897,000
会議費	250,000
交通費	669,000
事務局費	2,268,000
HP 管理費	160,000
通信費	250,000
消耗品費	200,000
雑費	100,000
(3) 予備費	453,345

特別会計

2011.9.30 現在 5,964,804 円. 熱測定特別基金より 15th ICTAC の準備金として 300 万円を限度として支出する (2011 年度 30 万円支出済み).

7. 会則改正について

第6章役員

第30条 役員の任期は2年とし、再任は妨げないが3期連続 選出は認めない。

改定案

第6章役員

第30条 役員の任期は2年とし、再任は妨げないが3期連続 選出は認めない。

案 委員会で承認された場合は、異なる役割の役員を 選出する場合においては3期に限って連続して選 出することができる.

理 由

第20条より、当学会においては会長、委員、幹事、会計監査が役員である。昨今の会員数減少に伴い、役員候補者が限られてきており、学会の運営に支障を来すことが危惧されます。また会長や幹事の前に委員であった場合は、3期連続して役員として選出される可能性がありますが、充分考慮した選出が行われてきませんでした。実際に過去においては委員と幹事を連続して4年を超えて役員を務められた例もあります。次年度の役員では、会長が2期連続編集幹事を務めた後の就任となるため、実情に合わせた会則改定を提案いたします。

8. その他

- ・第48回熱測定討論会について
- ・第49回熱測定討論会開催地について
- ・学会賞等の募集と締切り熱測定 Vol.39. No.1 で募集, 2012 年 4 月下旬締切予定
- その他

9. 奨励賞授与式

- ・神山 匡会員(近畿大理工)
- ・神崎 亮会員 (鹿児島大院理工)